山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP　令和５年３月２２日（水）　第６３号
QRｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

登校日が残り少ないあなたへ

職員室前には児童会運営委員会の子が書いた「卒業まであと２日」という掲示板があります。いよいよ卒業式は目の前です。そんな登校日わずかとなったあなたに以下の言葉を贈ります。

私たちは、一人ひとり同じ銀行を持っています。それは「時間」です。毎朝あなたに86,400秒が与えられます。毎晩、あなたが上手く使い切らなかった時間は消されてしまいます。それは、翌日に繰り越せません。

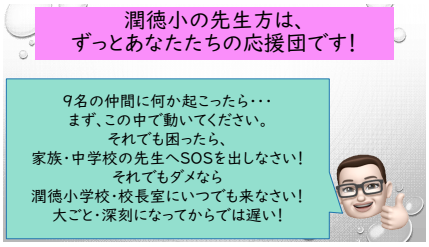
毎日、あなたの為に新しい口座が開かれます。そして、毎晩、その日の残りは燃やされてしまいます。もし、あなたがその日の預金を全て使い切らなければ、あなたはそれを失ったことになります。過去にさかのぼることはできません。

あなたは今日与えられた預金のなかから今を生きないといけません。だから、与えられた時間に最大限の投資をしましょう。そして、そこから健康、幸せ、成功のために最大の物を引き出しましょう。「祝・卒業」

校長特別授業をしました　３月２０日（月）４時間目　「教科横断型学活」

「卒業を控えた６年生に伝えておきたい！」そう思った私は、６年担任の先生に相談して貴重な１時間をもらって授業を行いました。小学校算数と中学校数学の違い、数学を学ぶ意味を軸にした授業でした。以下紙面の都合で、今回の授業の“概要”のみ述べておきます。

①植木算の問題　②九九は日本の誇る文化である　③円周率と音楽の不思議なコラボ　④中学校入試問題から「数学」を学ぶ意義を見出す　⑤命をかけて数学（円の研究）を追究したアルキメデス　⑥最後に伝えたいこと（９名の絆、潤徳小の先生はずっと見守っている！）



潤徳抄

２１日は、ＨＰ更新や学校だより・卒業式式辞作成等を並行して行った。そういう意味では自身にとって貴重な休日となった▼今月は、何かと中学校勤務時代に関わった卒業生とのやりとりが多かった。久しぶりに会って話す、本人の実家の職業を生かしての依頼事、近況報告などなど▼関わったすべての卒業生を総計すれば相当な数になる。そういう中で現在もなお、つながっている子がいる。その成長ぶりにうれしくもなり、自身にとって大きな刺激にもなっている。ただ、「私より先に死ぬな！」これだけは心から願う▼明日は卒業式。上述したように６年生向けに特別授業を行った。この子たちの中からも将来、意外な場所で再会したり、つながることがあるかもしれないし、もう会うこともないかもしれない。でも困ったことがあったらいつでも頼って欲しい。潤徳小であなたたちと出会った縁には何らかの意味があるはずだ。